京城日報
朝刊
朝夕刊共八頁

珊瑚海海戰赫々の大勝

更に米新鋭戰艦（ノースカロライナ）中破

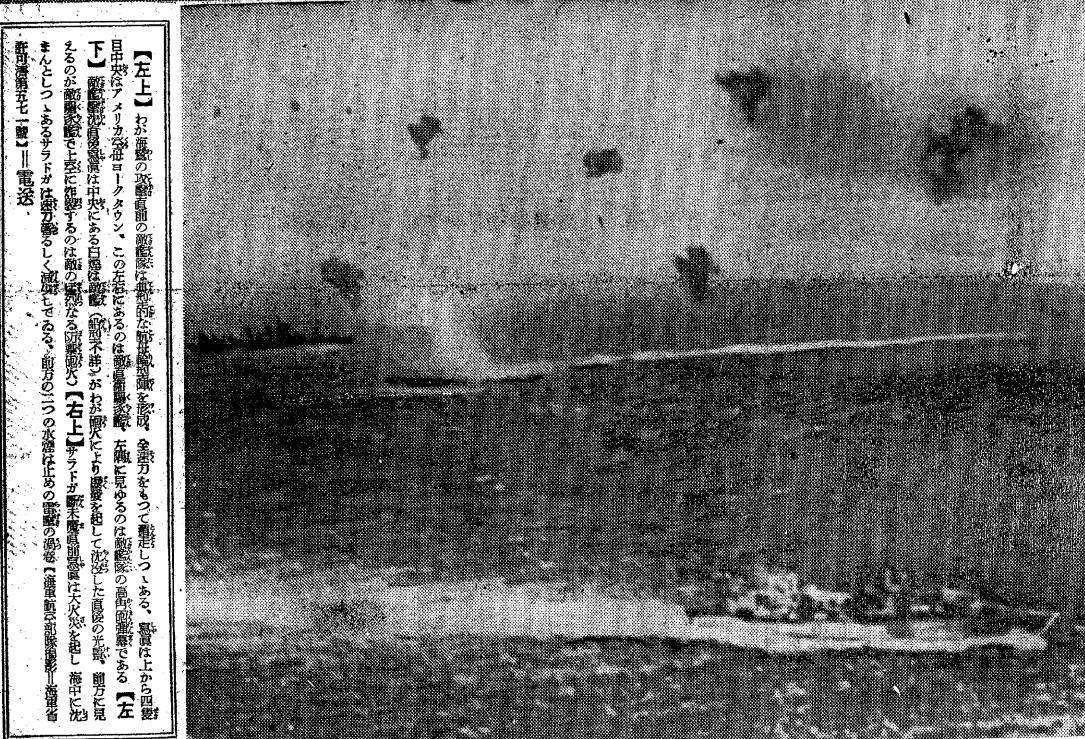
米甲巡一隻を撃沈す

珊瑚海海戰の戰果追加

大本營發表（廿五日午後三時廿分）＝一、さきに發表せる珊瑚海々戰々果中に米戰艦ノースカロライナ型一隻中破及び米甲巡ポートランド型一隻撃沈を追加す　二、同海戰において大損害を受けたる艦型不詳の巡洋艦は米甲巡ルイスビル型なること判明せり

米の誇り全く潰ゆ

我方未歸還中七機救出

敵米英聯合艦隊を完膚なきまでに撃攘した珊瑚海々戰の大戰果がその後の調査報告によつて更に追加發表され、輝く第三十七回海軍記念日を明日に控へて帝國海軍の眞面目を彌が上にも發揚された。廿五日午後の大本營發表により米國が世界最新鋭主力艦と自負したノースカロライナ型（三五、〇〇〇噸）を中破させ、さきに發表された艦型不詳の巡洋艦大破は米甲巡ルイスビル（九、〇五〇噸）とさらに判明、米甲巡ポートランド（九、八〇〇噸）を撃沈したことが明かにされた。これで珊瑚海々戰の戰果は

撃沈せるもの（五隻）
一、米戰艦　カリフオルニヤ型（三二、〇〇〇噸）
二、米空母　サラトガ型（三三、〇〇〇噸）
三、米空母　ヨークタウン型（一九、九〇〇噸）
四、米甲巡　ポートランド型（九、八〇〇噸）
五、驅逐艦　一隻

大破せしもの（三隻）
一、英戰艦　ウォースパイト型（三〇、六〇〇噸）
二、英甲巡　キャンベラ型（一〇、〇〇〇噸）
三、米甲巡　ルイスビル（九、〇五〇噸）

中破せしもの（一隻）
一、米戰艦　ノースカロライナ型（三五、〇〇〇噸）

飛行機撃墜　九十八機

といふ世界戰史稀有の大戰果を收めたわけである、殊に米戰艦ノースカロライナは米國が世界第一海軍を目指して計畫したビンソン建艦案による新鋭艦として姉妹艦のワシントンとともに昨年四月に竣功したばかりで同艦の設計その他には日本海軍を目標に特別の考慮が拂はれてゐたものと思はれるが、初手合せで脆くも傷つき逃亡した同艦の運命はアメリカの暗い前途を表徴するものであらう。わが大本營では珊瑚海海戰の戰果發表には特に愼重を期し攻撃實施部隊の指揮官および海鷲部隊の現認報告、さらに寫眞などによつて確實となつたもののみを集めて追加發表したものでその戰鬪概要は次のごとくなつてゐる。即ちノースカロライナ攻撃はさる八日サラトガ、ヨークタウンを攻撃した一部隊が兩空母の外に艦型不詳の戰艦一隻を發見、機を失せずこれにも魚雷攻撃を加へ損害を與へ、そのときノースカロライナ型であることを確認した、わが攻撃により同艦は兩舷より夥しい重油を流出させ火災を起してよろめきながら辛うじて遁走したのである、米甲巡ポートランドは七日の攻撃でカリフオルニヤ型を雷爆撃し同艦が大爆發とともに艦首をふり立て一瞬の間に轟沈した際、附近に居合せたもので、これまた間髪を容れざるわが雷爆撃により、呆氣なく撃沈された、また米甲巡ルイスビルはさきに發表された大破巡洋艦がわが雷爆撃により大損害を蒙つたルイスビルであつたことが確認されたもので、この大戰果とともにわが方も未歸還三十一機があつたことが發表されたが、その後の味方艦艇の活躍により附近海面でうち七機を救出したので未歸還はわづかに廿四機といふ寡小な損害であつた

寫眞＝（上）米戰艦ノースカロライナ（下）米甲巡ポートランド

【左上】わが海鷲の攻撃直前の敵艦隊は典型的な航母輪形陣を形成、全速力をもつて遁走しつゝある、寫眞は上から四隻目中央はアメリカ空母ヨークタウン、この左右にあるのは敵直衛驅逐艦、左端に見ゆるのは敵艦隊の高角砲彈幕である【左下】敵戰艦撃沈直後寫眞は中央にある白煙は敵艦（艦型不詳）がわが砲火により爆發を起して沈沒した直後の光景、前方に見えるのが敵驅逐艦で上空に炸裂するのは敵の猛烈なる防禦砲火【右上】サラトガ斷末魔直前寫眞は大火災を起し海中に沈まんとしつゝあるサラトガは速力著るしく減退してゐる、前方の二つの水煙は止めの雷撃の渦卷【海軍航空部隊撮影＝海軍省許可濟第五七一號】＝電送

社說　臨時議會開く

第八十回臨時議會は廿五日召集された。會期は二日間、政府は計畫造船の實施確保に關する法律案とこれに伴ふ豫算案について協贊を求めるとゝもに、國策遂行に關する所信を中外に闡明し、更に議會を通じて國民の理解と協力を求め、もつて鞏固なる結束のもとに大東亞戰爭の必勝と建設の必成に向つて勇往邁進することになつた。時局は恰も大東亞圏内は概ね皇軍の勢力下に入り、一方獨伊の歐洲における新攻勢と相俟つて米英撃滅の決戰近きにある今日、その意義洵に重大である。更に今次議會が政府の要請に應へて、一億國民の間に盛上つた要望、即ちいふ處の擧國的政治力の結集が遺憾なく實現し、その中核たる政治翼贊會の誕生を見、ここに議會は政府並に大政翼贊會、翼贊政治會が相携へて三位一體をもつて國内體制の刷新強化を期することになつたことは、我が政治史上特筆さるべきことであつてその意義また更に重大といはざるを得ない。更に帝國最近の政治動向を注目しつゝあつた列國殊に反樞軸國家群に對する反響に思ひ及べばその意義は決して輕からず、この清新堅固なる擧國體制こそは、我が國民の聖戰に臨む意氣と決意を表明するものであつて彼らにとつて一つの重大脅威とする處でなければならぬ。而して我が國民の議會に對する期待の多大なることは言を俟たざる處であつて今議會の動向如何は特に重大視する處でなければならぬ。從つて今議會に於る政府並に議員の擧措は内外注視の的と稱するも過言でないのである。されば議員各位はその重責を自覺し、重要議案の審議その他に當つては、滅私奉公殉國の赤誠をもつて協贊し、雄大なる構想に基く大東亞建設の創意を披瀝し、もつて翼贊議會たるの本領を最高度に發揮すべきである。而して政府また議員と提携し、議會を通して國民と緊密に結合し、大東亞戰爭の完遂に邁進するところあつて斯くて溌剌たる新議會と積極的にこれに呼應せんとする政府の決意とが渾然融合運營されて初めて臨時議會の成果は發揚されるのである

船舶建造の秋

政府は今臨時議會に計畫造船實施に關する法律案並に豫算案のみを提出するとになつた、今日我が國の船腹に對する時局●要求が如何に急にして大であるかを證するものである。云ふまでもなく戰時戰後の國家的需要を滿たすためには海運統制と共に積極的なる海運政策を必要とする。この積極的對策として採り得るものは造船促進の一途あるのみである。日本は海國である。船によつて國を立てねばならぬ。大陸經營の連絡は船に俟つほかはない。殊に南米諸國を東亞共榮圏に結びつける可能性は海運の強弱、商船隊の大小によつて左右される。換言すれば將來國運の消長は實に船舶によつて決するといふても過言ではないのである。この事情は現在の如く戰爭が長期且深刻複雜化するに伴つて愈よ甚だしくなるわけであるが、更に現在の戰爭が終つた場合の世界海運界の事を想察すれば、その勝負がたとひ如何なる形で決するにしても必ず熾烈な海運競爭が起るに間違ひはない。我が國にとつて手強い競爭者が、東亞の海上にも出現することは當然豫想される處である。これと前後して平和時の經濟戰においても、東亞共榮圏を確實に把握するためには我が海運力を、戰後の競爭に堪へる程度に擴充強化しておく必要がある。戰時焦眉の急に應ずるためのみならず戰後の國力維持及び國運發展のために、國策として大いに船舶を建造せねばならない。この見地からしても造船の急務は官民ともに深く認識する處がなければならない

高松宮殿下御渡満の途へ
けふ、晴れの東京御出發

【東京電話】盟邦満洲國の輝く建國十周年の佳年に際し、同國皇帝陛下に御祝意を表せらるるため満洲國に御差遣の高松宮殿下にはいよいよ廿六日東京御出發の御途に御就かせられる、左の如く宮内省から發表された

宮内省發表（二十五日午後九時三十分）宣仁親王殿下満洲國御差遣に付五月二十六日東京御出發御渡満、途中大連御經由、新京に數日御滞在、其間満洲國皇帝陛下と御會見、建國神廟、並建國忠靈廟御參拜、觀兵式、政府並協和會主催奉迎式、政府、關東軍司令官、駐満大使主催奉迎宴に御臨場、又在満内外人を御引見遊ばされ、御歸途奉天御經由御歸還の御豫定なり、今回の御渡満に際しては時局柄諸事簡素を旨とせらるる思召にて東京御發着の際一般官民の奉送迎は無之事とせられたり

珊瑚海海戰從軍記
放膽・敵艦に體當り
相次いで轟沈、また撃沈

【〇〇艦船部隊〇〇艦上にて廿五日潜伏海軍報道班員發】米英撃滅の大詔奉戴第六回の佳き日、さる五月八日わが無敵帝國海軍はまた赤道を越えた珊瑚海々戰においてあのハワイ海戰にも匹敵すべき大戰果に輝いた南太平洋の熱帶圏で決戰した、この大海戰はさる五月七、八の兩日にわたり實に東西九百浬、南北七百浬の廣大極まりない海と空とで戰はれたもので、わが水上航空各部隊は克く寡をもつて衆を恃む敵米英聯合の西南太平洋艦隊の根幹たる

（一）空母サラトガ型を旗艦とする航空艦隊および

（二）主力艦カリフォルニヤ型を旗艦とする戰艦々隊

を作戰計畫通り決戰海域に誘致しこれを包圍捕捉して一擧に撃滅、全世界を驚倒せしめたのである、かくて珊瑚海を中心とする南太平洋の制海制空權は完全にわが手に歸し毫末も敵の蠢動を許さず今や制海制空權の威力は濠洲本土東海岸からタスマニヤ海に及びつつあるのだ、記者はこの曠古の大海戰に參加してその特殊任務を完遂した〇〇部隊の〇〇に同乘、〇月〇〇日南太平洋の〇〇基地を勇躍出撃し、珊瑚海上で敵の空の要塞『B』一七型大型爆撃機の空襲を受けながら南太平洋の長濤を蹴たてつつ、假借するところなき『決戰の敢闘』を直かに觀ることが出來た、以下は記者が〇〇艦上において綴つた珊瑚海々戰の從軍記である

〇月〇〇日 必勝の信念固く午後〇時出撃した、この日降りみ降らずみの雲低く垂れこめ、特殊任務をもつわが〇〇部隊の出動を覆つて敵が空からする偵察機の眼を晦すかのやうだ、幸先至極よし、珊瑚海を包む外邊の敵、諸島嶼の蔭に潜んでわれを窺ふ敵潜水艦、われた隙あらば雷撃を試みんと企圖して動く敵航空母艦の存在はすでにしてわが作戰計畫に織込濟みのものでありこれが撃滅を目ざしての出撃である、敵潜水艦に對する哨戒見張りは嚴重を極める、巡洋艦が滑み滑り渡る警戒のなかに一味の和やかさが流れ出る、艦上月光をうけて非番の水兵たちが三々伍々蒸し暑い居住區から拔けて氣のおけぬ打明話に興じてゐる、お互ひに朗かに父母の寫眞とあるひは愛兒よりの激勵の言葉を味ふやうに戰友へ告げてゐる、大海戰へ生死を賭して珊瑚海へ行く戰ふ水兵たちの朗かな餘裕である、あすは午前〇時〇〇分總員起床だ、彈んだ話を朗かな微笑で打切つて下の居住區へ、深海を流したやうな積雲が重りあつて月光を包む怪の暗いデッキの隅で虫がすだいてゐた、この日この夜敵機の影なく敵艦の姿なし

〇月〇〇日、快晴 南下するにしたがつて敵哨戒圏の氣配濃厚『ジグザグ運動』をやりながら進行する、味方機〇〇機がマストすれすれに飛來した、左舷水平線上にわが小型航空母艦〇〇が段落艦影を現す、發着甲板にきらきら光る白波の翼か、覗いた望遠鏡面に躍つた、今にも飛び出さんばかりの不屈の姿が頼母しい、午後〇時過ぎ、風やうやく弱く海面は波立ち始む、南東の貿易風の圏内に入つたのだ、また敵潜敵艦の影をみず

〇月〇〇日快晴 時々大きなスコールが氣甘ひのやうにやつて來る、午前〇時わが哨戒機の偵察機より飛電第一報いはく『〇〇沖南方〇〇浬に敵機動部隊を發見す』、敵は南下しつつあり』と全軍の士氣いよいよ擧るまさしく敵近し、同〇時〇〇分空襲警報發せらる、針路不變、堂々の航進だ、『總員戰闘配置につけ』の令下る、敵の來るのを待つ、哭止わづかにビー十七型が一機、わが陣へに近より得ず高度をとつてうかがひつつ去つた、敵はわが艦船部隊を發見した、敵が衆を恃んで敢行するであらう攻撃こそ、わが希ふ所である、かくあればわが練りに練つた周到なる作戰計畫はまさしく圖に當るのだ、敵はまたわが機動部隊が快速で南下しつつあるのを知らない、記者自身の〇〇はなほ海路を變へず進一無二前進

五月七日 午前〇時わが左舷に〇〇艦を見る、決戰場間近と思はれる、敵はわが策を備つて攻撃命令を發したかのやうだ、この時すでに早くわが撃滅部隊の戰機は完成していたのである、米英聯合の西南太平洋艦隊は今や全くわが攻撃の的となつてゐる、わが部隊は敵艦隊を前方に引付けるべく更に前進して行く、午前〇時すぎ四發の敵ビー十七型二機がまづ來襲、わが〇〇から射ち上げた高角砲彈は敵機の爆撃進路直前に炸裂し高角機銃は高鳴る、眼前に見る海空戰の開始だ、しかし敵はわが彈幕を恐れて突込むことが出來ず盲爆に終始していたづらに遠く水柱を擧げる、午前〇時〇分に至るや〇〇島南方〇〇海に敵艦隊が南西進しつつありとの報告が來る、戰機は刻々に熟して來た、しかしわが方はなほ滿を持して放たず包圍の鐵環を時々締めあげてゆくやうだ、決戰の機至る、戰雲が珊瑚海の全面を蔽ひつくす、敵艦隊覆滅の時はもう間近となつた、決戰への彼我の鼓動は上下縦横に飛ぶ無電の火花によつて十分感得することが出來る、〇〇浬だ、敵ビー十七型三機が高度で空襲して來た、わが〇〇の猛烈な對空射撃の前にたじろいでゐたわれと敵との距離はわづかに〇〇の爆撃進路をとつた、その投下した爆彈はるか彼方に二つ、四つ大きな水柱を擧げた、わが艦隊は回避が一機が小癪にも高度をさげて爆

〇〇參謀談

學る歡呼の中で嬉し涙が頬を傳つて流れる

この日朝『敵の大部隊見ゆ』の報を得て〇〇基地のわが海鷲攻撃隊は時を移さず、大擧出撃し猛烈スコールまたスコールをついて敵所在の海面を約〇時間にわたつて索敵したが無念敵を得ず涙をのんで歸途についたところ、前方遙かの空に凄い彈幕が上つてゐるのを認め、すはあの彈幕下にこそと、暴進しつひに敵艦隊を捕捉することが出來た、わが海鷲は間髪を容れず體當りで雷撃をまづカリフォルニヤ型に喰らはした、空雷がつきささつたと見る間に轟沈だ、時に午後〇時四十分、ついで後續の戰艦ウォースパイト型にも魚雷を命中、キャンベラ型大巡に直撃一彈、至近彈一彈をその艦首になぐりつけた、俄然ウォースパイト型は行足を止めて發砲をやめた、戰闘不能に陥つたのである、この敵戰艦二隻を葬るのに十分とはかかつてゐないのだ、輝く戰果すでに擧る、我戰果はいよいよあがるに違ひない

午後一時三十分頃わが艦船部隊の左舷後方の空を銀翼で截つて飛んで來る、先頭の隊長機の翼がきらきら光る、味方識別の合圖をしてゐるのだが銀翼に眞赤な日の丸が燃え上つてゐるやうに望遠鏡面に大きく映つた、最初敵の大空襲かと戰闘配置について照準をきめて狙ひつづけてゐた高角砲の勇士たちは味方機とわかつて狂喜のやうに手を振つた、たつたいまさき戰艦カリフォルニヤ型とウォースパイト型を血祭に上げた殊勳拔群の海鷲が今ぞ大空高らかに凱歌を擧げて〇〇基地へ歸還しつつあるのだ、萬歳を叫び感極まる

雌雄こゝに決せん

戰闘をやりながら海を蹴る、敵機は撃退されてわれは一彈片も受けず整然所定の進路をとつて進撃した午前十一時の晝食前である『午前〇時〇〇分小型空母沈沒す』との報を聞く勃然と火の如く燃えて來る敵愾心、今に見ろ艦隊を一隻も餘さず珊瑚海の海神敵の饗宴に備へてやるぞと切齒した、沈沒したこの若い小さい空母は健氣にも前進して不幸この厄に逢つたが敵が放つた五十機の爆撃機によく抗して敢闘し貫いたのである、味方の小型空母沈沒これには二名の海軍報道班員が配乘されて報道任務の完遂に渾身の努力を拂つてゐたはずだ、この時である素晴らしい勝報がやつて來た『戰艦一隻撃沈』待つてゐたものが今こゝへ來た、感激だ、涙がて來る、やつたやつたわが勇猛果敢な海鷲部隊がカリフォルニヤ型を撃沈したのだ、ついで他の戰艦に大損害を與へたとわかる、どつと

五月八日 〇〇附近に進路を向けて出動、今日ぞ目出度くも第五回大詔奉戴日にあたるハワイ海戰當日の祖國日本の嚴姿を想つて血の高鳴るのを感じた 雌雄をこの一擧に決する最後の決戰は刻々迫る、殘敵は今や全く袋の鼠となつてゐる、やうやうにして敵はこの不利なる戰勢にきづいて來たらしいが、衆を恃む敵艦隊は、いまだヤンキー式自惚れを捨て切れないでゐるやうである、艦隊の反撃が十分豫想されると『敵〇〇機味方に向ふ』の報をきく、午前〇時〇〇分この時既に早くわが猛敢各地の海鷲部隊〇〇機は決死離艦し必勝の翼を連ねて敵空母目掛けて雷爆撃に向つてゐるのだ、すは最後の決戰だ、喰ふか喰はれるか決戰場ニューギニヤの東端から東方〇〇浬の海と空とだ、時間の經つのがもどかしい、午後八時四十分敵ビー十七型機が一つ來襲したが難なく撃退すると豫期してゐたやうに一大捷報が電波に乘つてやつて來た『サラトガ型撃沈』やつた、つひに撃沈したのだ、われらが最大の目標であつた敵空母サラトガは珊瑚海に捧げる恰好な贈物となつた、嬉しさが極つて目頭がぢつつと熱くなつて來る、そこへまた敵空母ヨークタウン型撃沈の捷報である、全身が勝利の喜びに顫へるのをどうしやうもない

第一撃は見事なり

記者は司令長官が發した『航空部隊の第一撃は見事なり』との無電による賞詞を聞いて、やつと落ちきをとり戻した誠に見事な働きだ、けふは米英撃滅の大詔奉戴日のハワイ海戰大勝利の日である

〇〇參謀談

この日午前九時四十分サラトガ型を撃沈した、これは最初に突入した〇〇大尉が仕止めたものだ命中と同時に火柱と爆煙とが物凄く天に冲し忽ち火と煙とがサラトガ型の全體を蔽ひつくして艦首も艦尾も見えない、そこで後につづいた〇〇隊に無駄な彈をつかはせないために『サラトガ撃沈突撃待て』と指揮官機が注意したくらゐだ、驚嘆すべきわが海鷲の沈着さである、それも敵戰闘機がわが攻撃を阻止せんとして銃火を浴びせ物凄く射ちあげる高角砲彈幕の中でわが海鷲のこの冷靜水の如き落着と正確な敵状判斷をしたのだからただただ頭が下る、この沈着がこの大戰果を獲得させた要因の一つだといつてよいであらう、午後〇時〇〇分わが艦船部隊に敵ビー十七型三機來襲、濠洲東岸の基地からでもやつて來たのだらう、一機は左舷から二機は遠く後方から爆撃して來たが、相變らずわが彈幕を恐れての最高度爆撃だ、中るものぢやない、何らの損傷なく誰一人微傷すら受けない大きな水柱が遠い海面で上つて行く

この夜感激の軍艦マーチが東京から放送されて來た、最前線の南半球、決戰場の珊瑚海できく祖國からのラジオ放送――大本營發表である、ああ珊瑚海々戰の大戰果の第一回發表だ、航母サラトガ型、ヨークタウン型一隻撃沈、戰艦カリフォルニヤ型一隻撃沈、戰艦ウォースパイト型一隻に大損害を與へ中巡キャンベラ型一隻大破輝く大戰果は一億同胞、いな大東亞十億の民族に、全世界にかく放送されてゐる、われらの任務は終つた、歸途につく、悠邈しかもよく戰つたわが小型航母〇〇の乘組員は殆ど救助され戰友〇〇、〇〇兩報道班員も無事救助されて歸途にありとき、有難さに涙が出て來る

内鮮満間所得税
二重賦課を廢止
多年の懸案茲に解決す
満洲國政府公表

新京特電【廿五日發】日本を中心とする東亞共榮圏の確立は着々進捗してゐるが、共榮圏内に於ける各國間の二重課税は凡ゆる方面に支障少なからず、就中東亞共榮圏の生産基地たる満洲國に於て、特にその感深きものあるところより、満洲國としても豫て日満間、満鮮間の所得税二重課税防止に關し内鮮満關係當局と折衝を續けた結果この程兩當局の諒解なり廿六日附勅令を以て満日二重課税防止令を、又同日經濟部令を次で施行則を夫々公布、即日實施することとなつたが、これにより商人、法人を通じて納付金の内紛を圖り事業資本の進出促進を計ることとなり、治外法權撤廢以來の懸案の解決を見るに至つた、鮮満間二重課税、調整方法は左の如くである

【調整すべき範圍】【朝鮮側】（一）所得税、臨時利得税の場合と同様満洲側、日満

【調整方法】【朝鮮側】朝鮮に住所又は一年以上居所を有する商人の左の所得税を免除、又は輕減すること（イ）満洲國内における營業又は職業より生ずる事業所得金額に對し百分の十二の割合を乘じて算出したる金額をその者の第二種所得税額より控除すること、但しその事業所得金額に付き計算したる第二種所得税額を越えて控除することを得ず（ロ）朝鮮に本店又は主たる事務所を有する法人の満洲國における資産又は營業より生ずる各事業年度の所得金額に對し百分の十二の割合を乘じて算出したる金額をその年度の第一種所得税額より控除すること【満洲側】朝鮮に住所又は一年以上居所を有する商人の満洲國において支給を受くる俸給、手當、給料、一時給與を除く）年金、賞與、法人利益の配分たる賞與を除く）等の給與に對する勤勞所得税を課せざること

長崎丸沈沒
味方機雷に觸れ
【東京電話】遞信省發表

東亞海運汽船日華連絡船長崎丸は五月十三日午後二時八分長崎港外において味方機雷に觸れて沈沒、船客および乘員の大多數を救助せるも死者十三名行方不明二十六名の犠牲者を出せり

貸方借方

日満海運製鐵所き のふ晴れの火入式 ▲半島經濟の重工業化がここにはつきり一段階を劃したやうな氣がする ▲鐵鋼そのものは勿論固いが、その固きが故に朝鮮の力強さが餘計に感ぜられる ▲この未曾有の大戰の眞只中にかくの如き巨大な建設が完全に行はれたこと自體が世界の驚異であらう ▲その世界の驚異は日本が更に戰爭力を加へたこと即ち武器の供給力がますます擴充されて行くことに對する驚異と ▲支那事變以來の戰爭日本になほかくの如き經濟餘力が殘されてゐたといふ驚異を意味する ▲これはひとり滿州か、半島のみの誇りではなく、全日本の誇りである ▲清新發剌の建設議會けふ開幕す ▲議會の使命は大政を翼贊し、政府の施政を監督するところにある ▲その翼贊すべき議會が既往して機能を發揮出來なかつたのは ▲政府も議會も小乘に拘泥して大乘につけ得なかつたためである ▲翼贊一黨の翼政は議會議員の全部である以上 ▲政府與黨議會の關係が完全に渾然一體化す感勢が整つたわけである

體育

本府、專賣勝つ 實業庭球リーグ戰終る

【本府】4―1【鐵道】
沼田（本田）四―三（林）岩城
金井（松山）四―〇（永井）金山
正木（小村）四―〇（伊田）藤澤
丸木（木室）葉―（若松）瀨良
◇二回戰
沼田（金本）四―一（若松）瀨良
【專賣】3―0【商銀】
玉山（廣永）四―三（平山）河村
大島（金村）四―〇（國本）鄭士
松水（三田）四―〇（伊東）新井

百六十萬人の歌

兵隊さんよ……の佐々木氏作曲

京小募集〝少國民の歌〟出來上る

少國民の歌　佐々木すぐる作曲

皇國民たるの誇りを強く表はし全鮮百六十萬兒童の心の結束を促すため本社小國民新聞が募集した〝少國民の歌〟は去る四日の審査會で齋藤悦身氏作が一等入選に決定したがこの歌詞の作曲を兒童物の作曲にかけては「兵隊さんよ有難う」で日本一とさへいはれてゐるコロンビヤ佐々木すぐる氏に委囑してあつたところ、この程見事に出來上り本社に假送されて來た

可愛い一年生でも男子でも女子でも揃つて歌へる勇壯かつ明朗な曲、行進でも會合の時でも家庭でも學校でも胸を張つて歌へる壯快な調子、全く子供に與へる第二の〝愛國行進曲〟として申分のない出來榮えである「多年手がけた兒童物にも、これほどの苦心をしたことはありません」と前置きして佐々木氏は東京市豐島區西巣鴨の自宅で語る【寫眞＝作曲の佐々木氏】

「この歌詞を拜見した時これは素晴しい曲が生れるぞと直感しました、この歌詞には健實と明朗が溢れてゐます、私も作曲するに當つてそれを狙ひ、しかも國民學校の一年生でも喜んで歌つて貰へる樣に、特に今度徴兵制が施行される樣になつたのですから、この句を胸に秘めて將來立派な兵隊になつて頂きたいとの願ひを含めて曲にしました」

愛國機費用献金

全北海島部總聯では廿五日代表部守幸村至黄氏が軍愛國部を訪れ愛國機費用として六萬七千七百卅四圓四十六錢献金した

國語・これで行かう

總聯で一般家庭用教本を統一

近く各愛國班に配布

徴兵制に次いで半島同胞を米英人俘虜の監視員に採用しようといふ劃期的な光榮を浴びて名實共に皇國臣民になり切つた半島同胞にして東亞共榮圏用語たる國語を解し得ない者があつては完全な皇國臣民とはなり得ない、國語の普及、ひいては全鮮こそ半島人がまづ第一にやり遂げねばならぬ責務であると國民總力朝鮮聯盟では國語の普及に當つて從來行はれてきた雜多な教本の編纂を總督府編輯課に依囑中であつたが、このほど脱稿、近く四十萬部を印刷のうへ各愛國班に一部宛配布することになつた

この愛國班必勝の國語教本は「コクゴ」と呼びポケット型四六判約廿頁で國民學校低學年の教本と同樣ところどころに繪も挿入されてゐる、定價は僅か一部三錢で希望者には各聯盟から纏めて來月廿日までに申込むことになつてゐる

このほかやゝ程度の高いものについても引續き總督府で編纂中であり、この教本も全鮮一樣のものを作り上げることになつてゐる

美行巡査に首相ご褒美

【東京電話】一警察官の隱れた美行で警察官としては初の榮譽である

新橋驛構内を通行中折から地下鐵の階段をいかにも苦しさうに上つて來る一人の白衣の勇士があつたが、その勇士は鎌倉の療養所から東京の自宅へ所用で赴く途中豐島區長崎町行バスに乗らうとしてゐたが織るやうな人の波でなかなかバスに乗れさうになく見兼ねた同巡査は同勇士を駐車場に伴ひ客待ちをしてゐるタクシーで豐島區長崎町二の住所へ同勇士を送り屆けたからこの間の事情を詳しく述べた感謝狀が名もつげず立ち去つた警察官の人相、特徴を詳細にしたゝめ是非探し出して御禮をいつて貰ひたいと感謝に滿ちた文面に添へて自動車代として三圓の小爲替が同封してあつた、此手紙にうたれた總監は直ちに此警察官の模範といふべき巡査を探したところこの隱れた善行の主は清水房人巡査と判明した、そしてたまく治安狀況報告の留岡總監の口から東條首相に傳へられたところ人情總理東條さんは痛く感激金一封を同巡査へ授與するやうにと處置したのであつた、警視廳としても同巡査の善行を表彰するため來る八日の大詔奉戴日に表彰式を擧行する

在京半島學生徴兵制感謝祭

【東京特電】朝鮮徴兵制度施行に在京半島學徒は感謝の心に湧き立つてゐるが、在京半島學徒から成る崇德寮では廿四日午後七時半同寮にて在京朝鮮學生徴兵制施行感謝祭を盛大に擧行した、先づ學生代表の挨拶に引續き奨學會理事長川岸中將初め同寮顧問上村中將、牧野少將、長谷川少將らの來賓が聖戰下徴兵制度施行の意義極めて深きを講演、半島學徒の奮起を切望すれば學生達もこれに應へてそれぞれ『み民われ』の感激を語り、將來皇軍勇士となつて聖戰完遂のため防人たるべき固い信念を披瀝し、こゝに幕を閉ぢたが引續き奨學會新理事長として上京就任した同寮理事長川岸中將夫妻に同夫人の歡迎會を行ひ九時半すぎまで歡びを語り合つた

伸びる半島視察

川島大將來鮮の辯

總力運動草創期の半島育ての親、元精動總裁川島大將が廿五日ひよつこり京城に姿を現した

「その後の朝鮮を視たくてね―」

と川島さんはかういつたが、浴衣がけに似た氣輕さで川島さんを半島に呼びよせたのは實に總督南さんの招請狀があつてのことだ、川島さんは陸軍の大先輩南さんの何時に變らぬ人情に涙するばかりの氣持で出かけて來たのだ

川島さんが去つてから足かけ三年、精動は國民總力聯盟へと昇華して、今や二千四百萬半島同胞は鐵の紐帶となつてゐるのだ志願兵に、創氏に、今また徴兵制度に、南方捕虜の監視員にした、半島同胞の皇民的地位は年と共に向上した、半島總力運動の基礎確立に粉骨を捧して挺身した川島さんにとつて、この若若しい半島の姿はまことに初孫にも似たいとしさとして映じてゐることだらう

半島の今日こそは自己の信念を吐露し愛國の至情をかたむけて育成しつゝある南さんにとつて命ととりかへても悔ない程に嬉しく頼母しい若者ぶりにちがひないし、南さんは後輩であり半島總力運動に自己を投げ出した川島さんに凛たる半島の今日を視てもらひたかつたので、

『その後の半島をぜひ一度見に來られるやうに……』

との懇懇あふれる書翰となつて健康恢復に精進してゐる川島さんのもとに飛んだのだ

『體が丈夫でなければ十分の御奉公はできない、その積りで歸京後は健康第一で過したお蔭でこの通り元氣だ、總督閣下に御挨拶してから咸興、平壤などを視察し來月二日には歸城する豫定だ、その時には嬉しい話題をもつて歸られるだらう』

川島さんはかういつて笑つた、南さんの溫情を喜び働く人に自信を得たすがくしい川島さんの笑ひだつた【寫眞＝右川島大將、左南總督】

志願兵訓練所第三期修了式

昭和十六年度陸軍特別志願兵第三期生修了式は二十五日午前十時から總督代理眞崎學務局長、高橋軍參謀長を初め關係軍、官民多數列席のもとに京城府外孔德里の志願兵訓練所で行はれた、國民儀禮についで海田所長の勅語奉讀、修了證書、優良賞、精勤賞の授與式あつて南總督の告辭（學務局長代讀）板垣軍司令官祝辭（軍參謀長代讀）生徒代表山田茂治君の答辭に次いで皇民の誓詞を齊誦、海ゆかばを歌つて同午前十一時式を終了引續き勇壯な分列式を擧行した

卵でボル

京城龍山署經濟係では廿三日京城漢江通一ノ一三〇野菜青果商朴守福（〇〇）を暴利行爲取締規則違反で取調べてゐるが、朴は去る二十一日住所氏名不詳の行商人から四貫目入仕入價格二十五圓六十錢の鷄卵を貫當り八十錢を超過して五貫目を購入、これを闇で賣捌き、なほ同人は季節物の上等品は店頭に出さず地下に隱して賣惜しみ、軒先には腐敗しかけたもののみを並べてゐた

凄い、當れば千圓

割增金附き郵便貯金切手

來月賣出し八日から

戰時貯蓄增強の一役を買つて割增金付き〝戰時郵便貯金切手〟がいよく六月八日の大詔奉戴記念日を期して全國の郵便局から第一回分一千萬圓が賣出されることになつた、朝鮮では目下總督府審議室でその内容について審議中であるが、第一回分として遞信局では百萬圓を賣出すはずである、この切手は縱五センチ半、横十一センチの大きさで額面は一圓と二圓の二種類だが當分二圓券のみを發行、賣出しは毎月八日から十五日までの八日間で、廿日に抽籤し十五日後には割當金の支拂をするといふ大變な迅速振である、割增金は二圓券が一等千圓、二等百圓、三等五圓、四等二圓でこの當籤數は全部で一等二百本、二等千本三等四萬本、四等四十萬本、合計四十四萬一千二百本といふ多數の當籤で、約十一枚に一枚の當籤率であるが、朝鮮では全體の十分の一即ち百萬圓を賣捌くから一等二十本、二等百本、三等四千本、四等四萬本、合計四萬四千百二十本が五十枚のなかから當籤するわけで結局約十一枚に一枚の割合である

抽籤後の切手は、當籤してもしなくても元金は五年間無利子で据置の特別貯金に預け入れることになつてゐる【寫眞＝戰時郵便貯金切手見本】

大日本帝國政府　戰時郵便貯金切手　金貳圓　100　123456

〝素晴しい〟を連發

南總督無敵海軍展へ

京城百萬府民待望のうち、盛大に開かれた〝無敵海軍大展覽會〟第三日目の廿五日、午後二時、國民服の總督さんが近藤秘書官をつれ和信百貨店の〝傳統篇〟會場に現れた、總督さんを會場で出迎へた海軍武官府黒木大佐、御手洗宣傳部長の案内で直ちに會場に這入つた

東洋の海軍から世界一の海軍にまでのしあげた皇國海軍の赫々たる勝利の歴史がジオラマ寫眞で如實に描かれ、一望のもとに收められてゐる

總督さんは黒木大佐の詳細な説明で武官府出陳の軍艦陸奥の貴重な模型や海軍省貸下げの大東亞戰緒戰の戰利品を初め、日清、日露の兩大海戰資料等が所せましまで陳列された會場を約四十分に亘つて熱心に見て廻つた、偉勳を千古に傳へ一億の龜鑑となつた眞珠灣の華、九軍神寫眞の下で暫し默禱を捧げた總督さんはなほも、マレー沖海戰々闘狀況に付き黒木大佐の詳細な説明をきゝ目を丸くしながら、レパルス、ウエルス兩艦撃沈の寫眞から目を離さない熱心さ…

〝なるほどこれは素晴らしい、なるほどね…〟の連發を發して〝訓練篇〟會場の丁子屋に向つた

此處には日月火水木金土の七曜表のもと血のにじむ猛訓練を積んで、見敵必殺の大成果をあげる皇國海軍不斷の努力が一堂に展示されてゐる

總督さんは此處でも黒木大佐から帝國海軍に關する説明を聽き、出陳品を一々手にとらんばかり熱心に覗き込み、〝ホウ！ホウ！〟を連發、〝海軍のことは、知らな過ぎた〟と含みては一同を笑はせ、三時過ぎ、歸邸した【寫眞＝和信會場の南總督】

皇民錬成を視察

―御差遣の岡部侍從、昭和館へ―

在關半島人の光榮

鍬の半島婦人隊解團

岩手縣六原道場に汗の錬成を兼ね內地農村婦人の眞摯な生活態度と營農法を詳さに視察した朝鮮農業婦人報國隊の一行七十九名は廿五日間に亘る尊い體驗と視察を終へ廿四日歸城したが二十五日午前十時三十分總督府表玄關前で解團式を擧行

國民儀禮に次いで隊旗を返還、第三班三井順德さん（咸鏡南道）が一行を代表して山澤農林局長に歸還の報告を行ひ、山澤農林局長より今後內地で得た尊い體驗を基礎として半島農村のために頑張つて頂きたいとの訓示あつて皇民の誓詞齊誦、國歌を奉唱して同午前十一時解團式を終了、引續き正午より愛國會館で開かれた聯盟主催の歸還報告發表會に臨んだ【寫眞＝解團式】

漢江鐵橋上に血塗れの足首

廿四日午前八時ごろ漢江鐵橋上中央附近に鮮血に塗れた左足首が轉つてゐるのを漢江南岸橋番人が發見、所轄龍山署に屆出たが轢死したものらしい

寫眞＝大東亞海戰に驀進する帝國潜水隊（海軍省許可濟第五七一號）

戰史に見る無敵海軍魂 (三)

〝訓練に制限なし〟

聖將東郷たゞ一言

したのである、この二戰艦の出現は著しく世界一の海軍國を誇つてゐた米英の自尊心を傷つけ同時に日本侮るべからずの感を深くした、この時、米、英共同で新進海軍國日本を弱小にせんと謀略を廻らした軍縮會議が開かれた

その結果〝世界平和〟の美名のもとに我が國は五・五・三の劣勢比率を押しつけられ、既に進水してゐる建造中の主力艦は涙を呑んで我が手によつて葬ち沈められた

しかし米、英の横暴を憎つた我が建艦技術員の愛國の至情は、この困難を乗り越えて條約制限内でど……しく遣られた、ワシントン會議に隨員として出席した加藤寛治大將が、憤慨して東郷元帥のところへ行つて

〝海に不自由で相濟みません〟

と涙を流してお詫をすると、元帥はたゞ一言

〝訓練に制限はないでせう〟

と靜かに答へられたといふ、この言葉を聞いて加藤大將は黙然として悟り、昭和二年大將が聯合艦隊司令長官に就任するに及んで月月火水木金金のたゆまざる訓練は更に徹底強化され實戰さながらの猛烈訓練は日に夜をついで行はれた

加藤長官は演習に際して艦長を集め

〝戰艦と軍艦がこすり合ふくらゐは當然なことだ、かすり傷くらゐは我慢しなければならぬ、正確訓練は困るがもつともつと大膽にやれ〟

と常に激勵を加へた

墨を流したやうな闇夜に、無燈火の軍艦同士で演習が行はれる假裝敵を驅逐艦が急追する、逃げる、追ふ、この結果起つたのが昭和二年八月の美保關事件であつた

巡洋艦神通と驅逐艦隊とが高速力で衝突し艦は眞二つに折れて沈沒し百數十名の犠牲者を出し、つづいて驅逐隊の一番艦と巡洋戰隊の一番艦とが同じく衝突して双方とも大損害を被つた、この大事件に對し世間では海軍の訓練は無茶過ぎると批難するものも出て來た、しかし加藤大將は〝我々は戰ひはもう始まつてゐると考へてゐる、世間でどう云はうと海軍の使命を達成せしめるためにはもつとく訓練が必要なのだ〟

とこの非難を一蹴し去り、相も變らぬ猛訓練に將兵は倦むことを知らなかつた、訓練！訓練！訓練！猛訓練！一年三百六十五日、一日として休むことなく火の出るやうな烈しい訓練がつゞけられた

〝演習よりも實戰の方がずつと樂だ〟

これは今次大東亞戰が勃發してから、海軍の將兵のいづれもが口にする言葉である、この訓練の中に〝海ゆかば水漬く屍〟の至高の精神は形成されていつたのだ

假裝敵巡洋艦を追跡中の○○潜水艦は無電連絡ため海上に浮き上ると物すごい暴風雨であつた潜航してゐるうちに颱風の中心に入つてゐたのだ、成瀬一等兵曹は眞先に艦橋にとび上ると、見張りの位置についた、と水平線上に突風にまき起されたが一きは大きな波濤が波頭を白く碎いて艦に向つて迫つてくるのを發見した、物凄い速さであつた、山のやうな狂濤であつた、艦長は間髪を入れず潜航を命じた、成瀬一等兵曹もつゞいてハッチに入らうとした時、既に巨浪は潜水艦を一呑みに襲ひかゝつてゐた ハッチに入つてから蓋を閉めたのでは間に合はない咄嗟に彼は外からハッチを閉めた、くづれ落ちる波濤の中で冷靜に手早くハンドルを締め終つたと同時に彼の手はハンドルから離れ、怒れる波の身體をさらつて行つた、艦内に成瀬一等兵曹の姿のないことを知つた時、艦は既に潜水してゐた〝成瀬を救へ〟艦は直ちに浮き上つたがもはや彼の姿は海上に無く何も知らぬげに暴風雨が海面を騒がしてゐた、對米關係日を逐うて險悪となり、太平洋の波高き昭和十五年八月十五日の出來事である

かくて迎へる昭和十六年十二月八日、日米英開戰す、この日太平洋上高く飜つたのは勲功の歴史を秘めたZ旗であつた、これを見たわが海軍將兵は海軍の傳統精神を振起し、ハワイ眞珠灣頭深く、米が誇る太平洋艦隊を全滅せしめたのである。國民よ、再び想起せよ特殊潜航艇の偉勲を！〝わが方未だ歸らざる特殊潜航艇五隻〟この十六文字の中にこそ、悠久三千年の歴史に輝く海軍魂の昇華があるのだ、わが海軍は開戰三日目にマレー沖でイギリス東洋艦隊を全滅し、更にジャバ海、スラベヤ沖印度洋、近く珊瑚海々戰において世界に君臨した米、英海軍を再起不能にまで叩きつけた

かくて彼我の十對三の比率は主客を顛倒し、今や皇國海軍は七つの海の王者として、その制海權を完全に掌握した

「海を制するものは世界を制す」とか、あゝ偉大なり皇國海軍！

京城版

膨れる江南地區に "窄き門" の惱み
地元民が對策を考究

江南地區の異常な發展に對應し京城府では本年度から第一、二部とも各一校づつの國民學校を增設することになり第一部の學校は江南國民學校と銘打つて鷺梁津の元恩賜學校の舊校舍を假校舍にさる四月の新學期から目出度く開校し新校舍は上道府營住宅地に五千餘坪の敷地を取つて總工費十六萬六千七百餘圓で新築工事中であるが新校舍の設計によれば教室が僅かに五教室で、之では現在建築中の住宅營團の住宅四百戸を初め第一不動產會社の住宅一百戸、朝鮮永登浦社宅二十戸、專賣局官舍六十戸、鷺梁町京電社宅五百戸、來春早々建築豫定の營團第二期分譲住宅三百戸の完成とともに合計千四百九十戸の人口が一時に膨脹するはずでこれに現住戸數三百六十四戸を加へると實に千八百五十四戸となり全國統計數字によつて戸數の六割を學齡兒童に見積ると結局千百十二名の兒童が增加することとなりこれを收容するには約廿學級の校舍を必要とする譯だが目下新築中の五校室の校舍では來年の新學期には地元入學兒童の一部をも收容出來ず、結局は遠い鷺府內の學校へ通學の餘儀なき羽目に陷ることは火を見るより明かで地元民は少からず憂慮し同校後援會を中心に有志間には邃日膨脹する土地柄に對應し新校設計の變更方を熱望しこれが對策を考究中である

忌明け献金
三坂通三三五渡部武郎氏は亡父武氏の忌明けに際し貳百圓を恤兵金に、百圓を社會事業基金として廿五日本社に寄託、献納の手續きをとつた

赤誠の献金
鍾路署へ　廿五日鍾路署へ寄せられた國防献金は

▲齋洞町八六李應吉君＝校洞國民學校六年生＝が二年生の時から積立てた貯金十五圓五十九錢を▲內需町九四李鍾珍さん三圓▲北部中央町會第二區九班（代表金村嘉雄さん）四十圓

東大門署へ　支那さん天勝れ鍾路四ノ六六支那ボーズ團孫寶運さんは在鮮六年を感謝して廿五日東大門署へ廿圓を差出し恤兵金に寄託した

永登浦南部町 井東區長更迭
永登浦南部町井東區長權藤重大氏は、この度家庭の都合上辭任したので後任には岩永泰明氏が推された

會員でない方は 材料購入お斷り
きのふ寫眞防諜聯盟役員會

〃法を守つて樂しくパチリ〃銃後防諜の第一線に立つ府內萬餘のアマチュア、營業寫眞家の寫眞生活は決戰下の緊迫を反映していささかの隙も無い、フヰルムの浪費の裏には〃間諜未だ死せず〃この恐怖がつき纏ふ長期戰に勝つ爲に半島內の徹底した寫眞防諜を實踐しようと先般府內の營業寫眞家、一般寫眞愛好家、寫眞材料商を打つて一丸として結成をみた京城寫眞防諜聯盟では二十五日午後五時から朝鮮ホテルに初の役員會を開催、事務所、支部の設置、本年度事業等の打合懇談がなされたが事務所は明治町島田誠昌堂內に置き、專任事務員を採用するほか聯盟內に『營業家寫眞防諜團』『寫眞愛好者防諜團』『寫眞材料商防諜團』の三團體所屬せしめ寫眞愛好家防諜團のみは府內各警察署單位に支部が設けられる、なほ永登浦のみに營業家寫眞防諜團支部を設ける

會員申込み受付は廿六日から府內各材料店で受付けるが希望者は會費一圓のほか縱四センチ、橫三センチ半の無帽上半身寫眞二枚を添へて申込めばよい、六月五日で第一回申込みを締切るが特記すべき條件として『今後聯盟會員でない』ことになり樂しくパチリのとフイルム乾板や寫眞材料が買へないことになり樂しくパチリの寫眞生活も文字通り法を守らねばならなくなつた、聯盟役員は次の通り

【寫眞＝京城寫眞防諜聯盟初の役員會】

▲理事長田中三郎▲副理事長山澤三道、村田敬晃▲常任理事大澤岡會他九氏▲理事白川榮一氏ほか十一氏▲顧問京城憲兵分隊長ほか二氏▲支部顧問府內七警察署外事主任

"榮えよ白松"

四百七十餘年の歷史を存し世界一を誇る京城通義町三五の天然記念物〃白松〃を永久に保存しようと同町愛國班では廿四日午前十時半から城大から森、細川の兩博士を迎へ丹羽同町會副總代等町內有志多數參列の上〃白松〃の老いて益々榮えんことを祈る祭事を執り行つた、國民儀禮についで用裵大龍敎部山敎會長川上濤春氏により修祓、降神、祝詞、玉串奉奠、參列者禮拜、昇神等の祭事を終つた後森、細川兩博士から〃白松〃の由來と尊さについての說明があり參列者一同に深い感銘を與へた【寫眞＝白松のお祭り】

無敵海軍を讃ふ 海軍記念日の夕

時＝五月二十六日【火】夜六時
所＝京城府民館大講堂

入場無料　但し場內整理の爲金十錢申受く

講演＝海軍武官府　德田機關中佐
映畫＝日本ニュース（最近着）我等の海軍、艦船勤務　アメリカ太平洋基地

主催　京城日報社　京城府
後援　海軍協會朝鮮本部　海軍協會京畿道支部　海軍協會京城府分會

內鮮一體は『國語』から ⑬
無駄口が減つて 生產能率が增進
職場における國語常用　今西さん語る

聖戰完遂の一翼を擔ふ半島二千四百萬民衆に國語を習得せしめかつ常用せしめようとの國語全解運動が全鮮津々浦々に澎湃として起まつてゐるとき、銃後の最前線を承る工都 永登浦 を背負ひ生產報國に勵みなき進軍を續けてゐる產業戰士の國語常用ぶりを〃皮革王國〃朝鮮皮革會社工場今西工場長に訊く【寫眞＝今西さん】

大東亞共榮圈の中核として將た大陸前進兵站基地としての朝鮮における工業の重要性が叫ばるるとき生產報國を誓つて立つ私達生產業者は一本の釘を打ち込むにも又一針の絲を縫ふにも皆一として溢るゝが如き大日本精神の發露たらざるものはないのでありますと國策に協力し滅私奉公の至誠を捧げつゝある產業人の愛國の熱情を吐露し、なほ語を續けて前線將士に感謝感激を捧げる

これは銃後國民の誰しもが一緒であるが、殊に私共軍需工業に携はるものはより一層の限りなき皇軍感謝の赤誠に燃える眞劍な努力を傾倒して戰線將兵の御役に立つ製品を造り出さなければなりません、それには何よりも先づ從業員の皇民鍊成が大切でわが社ではずつと以前から國語愛用によつて日本精神の昂揚を圖るべく國語常用を獎勵してゐたのでありますが、職工側でも凡ての品物の名稱から作業の手順が皆國語になつてゐるから國語を知つてゐなければ自然仕事の能率が上らないのは勿論、永らく勤續しても幹部社員との意思の疏通を缺き仕事上の指揮命令も徹底しないから何時までも一人前にはなれないので國語を知らない職工達もこれでは一生の損だと悟つて自ら躍起となつて國語を勉強し全解に努めるやうになりました、昭和十四年度に軍管理工場となつてからは工場內での朝鮮語使用を禁じ國語一本で通して來たので現今では相當の成績を舉げ年數回の國軍指導官視閲式にもお賞めに預つた次第であります、唯女工達の職場ではまだ國語一本では無理な點があるので萬已むを得ない場合のみ朝鮮語の使用を許してゐますが、國語常用の積極的獎勵に乘出して以來面白いことには無駄口が非常に減り仕事の能率も大いに上り一石二鳥の効果を舉げてゐます

街の慰問袋
恨めしい牛乳配達

むかしは贅澤飲物だと白眼視されてゐた牛乳も今どき滅多おいそれとは手に入らぬ位貴重な品物となり、朝ッぱら通りの鋪道を 棍棒を手にガタくと過ぎる牛乳屋さんの背に『オーイ、一本呉れんか』など呼び掛けようものならそれこそ大へんな恥をかくといふもんです、醫師の診斷書を添へるか愛國班長の手許を經て申込む手續きを要するが何れも老幼病人に限られ、京城府廳には毎日平均三十枚近い配給申請がサッサウするんださうです

『私のうちに二週間も前から申込んであるのに一向配達して呉れません』と泣き込む人は大抵は赤ん坊や病人を抱へた深刻な惱みを訴へる、係員の調査によると京城牛乳販賣組合の配給能力は一萬七千本であり、現在市中に約六千本が配給されてゐる

『まだく餘裕は充分あるのに どうしたんでせう』

奧さん連中が首を捻つてみても始まらない、今さら毎朝ガッタン、ゴットンと鋪道を通る牛乳配達員が恨めしい

〃七生報國〃を誓ふ
きのふ櫻井國民校で『楠公祭』

〃七生報國〃の精神を大東亞戰爭の中に脈々と生かして今に日本國民の渴仰の的『大楠公』の二十五日は生誕の日だ、楠公精神を校風に生かす府內櫻井國民學校では第八回『楠公祭』を舉行、校門西側にそゝりたつ大楠公銅像には注連が張りめぐらされ淸淨の氣みつる中に午前八時來賓父兄始め齋藤校長以下全校職員生徒が參列、國民儀禮についで修祓、楠公旗擁揚、祝詞、玉串奉奠で閉式、恒例の奉納相撲と劍道は京畿士の熱戰力鬪に終日歡聲とゞろき炎天下の皇軍勇士を偲ぶ相應しい勇壯な行事は午後五時終了した

多い露天商人の闇
東大門署で一齊取締り

東大門署經濟係では帆代主任以下經濟員で廿三日午後二時から管內露店商人の一齊取締りを行つた、土曜日の午後をまさか警察が來るとは豫想もしなかつた露店商人達は不意を喰つて日頃の闇を覆ひ隱す暇もなく次々とあばかれて新設町一六七趙炳喆（三）ほか十一名が商品共々引あげられた、これについて帆代主任は語る

露店商人の闇は他方から上つて來た人に都會の惡弊を傳へるやうなもので、この種の商人の闇取引には實に目に餘るものが多い、また品物においても一般商店よりは豐富であり、彼等が如何なる方面から仕入れて來るかは今後の調べに待つほかはないが、買ふにも賣るにも闇値で取引するこれら惡質商人が質朴な田舍の人に與へる影響は社會的にも大きい、そこでこの際これらを洗ひ流して闇を是正してやらうと思つて一齊調査をやつてみたら果して靴下、人絹織物の闇が十三名も舉つた、なほ今後も一層取締る考へである

運動會を取 止めて献金

南大門通五ノ一九京城農機具組合では時局柄恒例の春季運動會を取止め、それによつて浮き出た六百圓を廿五日午前本社に持參、組合長二宮常一氏から陸海軍へ各三百圓宛を恤兵金として寄託した【寫眞＝二宮常一氏】

金屬回收をして國防献金
西部第三區町會

献金運動に張り切る西部第三區町會では廿二日全町民が舉つて金屬類賣上金九百六十五圓十八錢を陸海軍恤兵金に捧げたが、各區提供額は次の通り

一區二一、七一圓二區六五八圓三區一七〇、六七圓、四區五一六六圓、五區三七、八七圓、六區五三、八〇圓、七區一一、區九圓、八區六九、四七圓、九四二〇、一三圓、十區一一〇八、九三圓、十一區二三、〇二圓十二區四五、五九圓、十三區四五、二六圓

なほ中林町一四九加明學校は四十八圓卅錢、同町藥峴天主教會は二百八十四圓八十錢を献金した

東大門署員 の異動

廿三日京畿道の人事異動に伴つて東大門署では司法主任松尾賢市氏が警部に昇進して本町署司法主任に榮轉、その後へ鍾路防護主任牧野英一警部補が來任した、牧野氏は支那事變に出征した功六の勇士である、その次は衞生主任金鐘鉉部補が同じく警部に任ぜられて道高等課に轉出し、漸く京都帝大出身の光を見せ、その後任に平澤署芝山光雄警部補が來た、以上幹部の異動によつて同署內勤巡査の部署へが次の通り行はれた

▲外勤和田勇（司法）▲司法坂本進（外勤）▲司法井上岩夫（衞生）▲留置場坂上國男（經五）▲衞生吉川俊衞（留置場）

貯蓄强調ポス ター漫畫募集

本年度における半島の貯蓄目標額たる九億圓のうち三割七分、二億六千一百萬圓を受持つ京畿道では目標額完遂を期するため京畿聯盟と共同主催で大東亞戰爭必勝貯蓄運動强調ポスター漫畫の懸賞募集を行ふが懸賞資格は第一類が道內國民學校兒童、第二類が中等學校生徒、第三類が一般となつてをり締切は六月廿五日、發表は七月上旬、送付先は京畿道理財課となつてゐる

漢江の川開き

漢江遊船組合では廿八日正午から龍山方面有志多數を招待、漢江人道橋下で昨年中の水死者慰靈祭を兼ねて盛大な川開き式を行ふ

運動會
二十六日午後一時から市內壽松公立國民學校々庭で『保護者のため』の運動會を開催する

愛の赤道【104】
竹田敏彦 作
都竹伸一 繪

二つの影（七）

千鶴子からだ！

二郎は見馴れた筆跡に驚いて、すく封筒の裏を返してみたが、

荏原區小山町××番地　蓮井信太郎

『おや……』

記憶にもない男の名前に、もう一度表面を返してみると、

大森茶轉樣――

『何だ、兄さんの手紙だ』

二郎は自分でも可笑しくなつて苦笑しながら筆跡に眼をつけたが

『なるほど、よく似た癖のある筆だが、さう言へば、男の手跡かな』

肉筆に書かれた强い線が、男の手らしくも見えてきた。二郎は、茶の間の方へ上つて、

『嫂さん、お手紙ですよ』

近頃は、もう『嫂さん』と口も馴れて可笑しくなく晃子を呼べた。

『あら、有難う……』

晃子は、一郎が渡す一通の手紙を受取ると、

『さうく、今朝あなたが出ていらしつた後で、直く速達のお手紙がきてゐますよ。お部屋の机の上へおいておきましたから』

『僕に。さうですか』

速達など手紙を寄越す先は今の一郎には想像もつかないので、

『もしかしたら、厚生省から呼出しでも來たかな？』

淡い期待に心を彈ませながら、離れの自室へ急いで見ると『速達』の朱印が眼立つ一通の手紙が机の上で待つてゐた。急いで取上げてみると、名古屋の職工からだった。

『何だ千鶴子は、名古屋へ歸つたんだな』

そんなことを想像しながら封を切つてみると――

拜啓、突然ですが、只今千鶴子より變な手紙が屆きました。それによると或る事情の爲に、今までの工場も止して暫く身を隱すから決して心配したりあわてて搜したりなどしてくれるな。私は生れなかつたものと思つて忘れてもらひたい――さうそれてゐたのだつた。

ダバオでは佐智子、こちらでは千鶴子共に生死もわかりかねる二人の娘が、悲しげな顏で二郎の眼に描かれるのだつた。

とならば、もつと突込んで眞劍に保護してやるべきだつたのに――

二郎も處置に困つてしまつた。

千鶴子の行動には、一々不審を抱いてはゐたが、何んな秘密が、あの孝行娘に、死ぬまで覺悟して、こんな手紙を出すほどの深い苦惱を與へてゐたのであらう。こんなことならば、

『これは一體どうしたことだ、生れなかつたものと思つて忘れてもらひたいとは、最後の場合の言葉ではないか』

二郎の顏色も、不安に蒼ざめてしまつた。勿論、先達つてからの

頓首

『何か、あなたの方でお心當りはございませんか。先には、名古屋へ歸りたい意向の手紙を戴き家方一同安心してその日を待つてゐましたのに、全く青天の霹靂で安き心もない次第です。誠に恐縮ですが、最近どんな風でしたか、又何かお心當りでもあれば、至急御一報願ひます。母共御心配はかりおかけした上にとんだ御厄介を願ひ、返すくも申譯もありませんが、何分にも宜しくお願ひ申上げます。先はとりあへず御依賴まで』

母にも見せないでゐるのです。實は、んな風な驚いた文句です。

ラヂオ　廿六日

晝　〇・二〇（大）齊唱と合唱　海軍々歌集『輝く海軍記念日』ほか　大阪放送合唱團▲一・〇〇大東亞戰爭海軍の歌發表會＝日比谷公會堂より中繼＝【第一部】大東亞戰爭海軍の歌發表齊唱、合唱東京音樂學校合唱團【第二部】吹奏樂海軍々樂隊▲二・〇〇劇『われは海の子』小林英一他▲二・二〇（城）『味噌と醬油の話』（鮮語）豐山泰次（城）音樂（レコード）▲四・〇〇（城）京城師範學校附屬第一國民學校より中繼＝第二學年綴方『觀察とよみとり』の實際指導、指導田中稔

夜　六・〇〇シンプン、日本海軍行進曲集『軍艦行進曲』ほか東京放送管絃團▲六・二〇（城）日本刀の話（朝鮮語）刀匠平瀨康雄▲七・二〇國民合唱『夏は來ぬ』ほか指導四家文子▲八・〇〇1軍事發表、2『海と子供』明原一郎ほか▲九・〇〇（城）野談（朝鮮語）『慈愛の鞭』申鼎言▲九・五〇（城）中等國語講座

迸る赤誠の群
半島人軍屬志願殺到

米英人俘虜の監視に半島人青年數千名を採用するとの朗報は全半島の青年層を沸かせた、驕慢米英人の根性を半島青年の手で徹底的に叩き直す絕好の機會だと軍屬採用の日を腕をふるはせて待機したが希望の日二十五日その第一回銓衡試驗が京城府民館中講堂で京城府社會課係員の手で行はれた、集つた青年の數は豫定員の二倍以上といふ盛況に係員の方がその赤誠に壓倒され勝ち、午前八時口頭試問に始まる『希望條件は?』『御家族は?』係員の前に緊然と並んだ志願青年の顏は明るく希望に滿ち胸を張つた姿勢に皇國民の誇りがみちみちてゐる、强健な體軀と"巧な國語"といふ審査員のカンどころにぴしぴしと揃ひ程に觸れて天晴れ軍屬候補はどれもこれも張切つて、驕慢不遜なる彼等に日本國民の優秀性を認識せしめようとの大きい使命に氣負ひたつてゐる、午後六時終了月末體格檢査が行はれる【寫眞=銓衡試驗】

緊要な總力 二大運動
川島大將來鮮談

決戰下の半島における總力運動視察のため來鮮した元朝鮮精動總裁川島義之大將は廿五日急行"のぞみ"で入城宿舍朝鮮ホテルに入つたが左の如く語つた

今回の徵兵制實施と相俟つて內鮮一體の實がいよく擧揚されつゝあることはまことに御同慶に堪へないところで半島もこれによつて成人たる元服姿となつたわけだ、總力運動も逐次活潑に展開されてゐると思ふが今後は特に婦人層の指導方面に重點を置くことゝ、國語全解運動の强力なる展開が急務である、今回は咸興、平壤方面を主に視察するがこの機會に半島民衆が眞に內鮮一體皇民として大東亞の建設に挺身するやう切望してやまない次第である

獨食糧農業相退職

【ベルリン廿四日同盟】ワルター・ダレードイツ食糧農業相は廿三日より長期休暇をとることとなり、事實上大臣の職を去り、次官のヘルベート・バッケ氏が代理として食糧農業相としての政務を統轄することになつた

鎔鑛爐の火は燃えたり
今ぞ點ず不滅の炬火
日鐵清津製鐵所晴の火入式

【清津にて藤本特派員發】決戰下の鐵增產に逞しき世紀の巨歩を踏み出さんとする日鐵清津製鐵所の晴の火入式は記念すべき五月廿五日午前十一時四十六分內鮮人八百餘名の軍官民代表多數を迎へて盛大に擧行された、この日、北都清津の空は日本晴れ、式場入口に設けられた祝賀大アーチも一際初夏の陽光に映えて今日の晴の門出を祝福してゐるかのやうだ、午前九時半開式に先立ち小澤羅南神社宮司によつて鎔鑛爐及び送風機、汽罐、原料裝入機等の修祓の儀が執り行れ、次で同十時半國民服に觀一相日章を佩用した豐田社長の先導によつて岸田大臣代理、拓務大臣代理、大野政務總監、尾崎羅南部隊長、上瀧咸北知事、大野道知事、海軍武官等文武顯官は式場第一鎔鑛爐前に入場、羅南、清津兩神社宮司の手によつて修祓、降神、獻饌を執り行ひ祭主豐田社長恭しく神前に參進、祭文を奏上、羅南小野宮司によつて切火の古式床しき浄火の儀が行はれ、こゝに始めて世紀の火は點ぜられた、この日この瞬こそ大東亞戰爭必勝の狼火である、天業翼贊の首途の日だ、三鬼所長初め居列ぶ全從業員の眼は感激の涙にぬれてゐる、增産挺身製鐵報國の決意も新たに豐田社長、三鬼所長以下工事關係者來賓代表玉串を奉奠して滯りなく神事を終つた、次で聖戰日本を表徵する眞紅の浄火が豐田社長の手で第一鎔鑛爐に投ぜられ、三鬼所長の送風命令一下轟然たる唸りと共に同午前十一時五十分送風機は果然熱風の奔流に煽られ鎔鑛爐は見る／＼灼熱の坩堝と化した、濛々と吐き出された黑煙を仰いで參列者一同は大野政務總監の發聲で萬歲を三唱した、正に世紀の凱歌である、不滅の一瞬である、この火、この黑煙こそ、兵站基地半島の逞しき進軍譜である、こゝに歷史的火入式は目出度く終り、引續き同十二時より式場內において祝賀式を擧行、國民儀禮の後豐田社長の式辭、三鬼所長の工事概況報告があり、次で岸田、拓務兩大臣、大野政務總監等各界代表の祝辭あつて正午過ぎ閉式、盛大な祝賀會に移り日鐵の壯途を祝して乾杯した【寫眞=日鐵清津製鐵所前の祝賀アーチ】

"よくぞ成し遂げた"
感激の大野總監車中談

【清津にて藤本特派員發】半島生產力擴充に一新紀元を劃する日鐵清津製鐵所第一鎔鑛爐火入式に臨席のため廿四日午後三時五十五分京城驛發北鮮に向つた大野政務總監は天野秘書官を帶同廿五日午前七時卅四分羅南驛着咸北入をした、驛頭にて大野咸北知事初め官民多數の出迎へを受け道況を聽取した後直ちに清津製鐵所火入式に臨んだが、車中にて左記の如く語る

私が來任した當時茂山の開發に着手した、これと同時に製鐵所を作ることになつたのであるがこの開發材料の惡條件を克服して遂に完成したのである、この時局を考へて見た時、全く能くなし遂げたものと喜び有難く感ずる、これで清津は港も、製鐵所も出來た譯で、今後もこの勢で發展し、重工業の基礎が築かれて行くと思ふ、清津製鐵所は茂山鐵山の鐵鑛を處理する一貫作業にその特異性があるのだから、大東亞建設の上から見る時北鮮とか西鮮とか地域的に見るよりも朝鮮全體が豐富な水力を保有してゐるのでこれと南方の資源がタイアップして始めて大東亞戰における朝鮮の地位がはつきりして來る譯である

基地の使命を果せ
火入式 南總督告辭

【清津にて藤本特派員發】日鐵清津製鐵所第一鎔鑛爐火入式における南總督の告辭(大野政務總監代讀)は次の如く『僅々三年に滿たずして第一鎔鑛爐の火入式を見たるは建設當局者各位の不撓不屈の努力の賜である』と關係者に敬意を表した後『大東亞戰爭完遂のため戰後にありては生產力擴充殊に鐵鋼の增產は極めて喫緊の要務、清津製鐵所の使命は最大である、その使命に邁を效し益々努力せられんことを切望する』と述べた

告辭 大東亞聖戰下日本製鐵株式會社清津製鐵所第一鎔鑛爐火入式を擧行せらるゝに至りたるは本職の欣快とするところなり、顧るに之で清津製鐵所の建設は茂山鐵山の開發計畫と共に昭和十一年我國鐵鋼政策遂行上國策として決定せられたるものにして爾來着々起業の準備を進め昭和十四年五月建設工事に着手したり工事着手當時は支那事變勃發後約二ケ年を經過して居り資材の人手難輸送の不圓滑等幾多の惡しき條件下にも拘らず僅々三年滿たざる期間內に第一鎔鑛爐の火入式を見るに至る建設當局者各位の不撓不屈の努力の賜にして深く敬意を表すると共に他面關係軍を初めとし關係各方面の絕大なる御援助に對し深甚の謝意を表する次第である、今や皇威を八紘に輝かしめ大東亞建設の重大の時期に際會し而して大東亞戰爭完遂の爲には戰後にありては生產力の擴充殊に鐵鋼の增產は極めて喫緊の要務なり、この秋に當りて大陸前進兵站基地たる朝鮮における清津製鐵所の使命は洵に重且大なりといふべし、希くば關係者各位におかれては其使命の重大さに想を效さ我れ皇軍の勇くが如き炎暑の下或は酷寒の地において重大任務に從事しつゝある將士の辛苦に想を效され今後益々不撓不屈の努力を以てこの使命達成に邁進せられんことを切望してやまざる次第なり、一言所懷を述べて告辭とす

昭和十七年五月廿五日 朝鮮總督 南次郎

製鐵報國に勵め
板垣軍司令官告辭

【清津にて藤本特派員發】板垣朝鮮軍司令官は清津製鐵所の開業式で次の如く告辭を述べた(長屋少將代讀)

本日茲に日本製鐵株式會社清津製鐵所開業の盛典を擧行せらるゝに方り親しく祝辭を述ぶるは本職の欣快とするところなり、今や肇國三千年の蘊蓄せる國力迸發して大東亞建設の聖戰となり皇威八紘に洽き國運の隆々たること今日に如くはなく從つてその戰力增强のため各種の資源、就中鐵鋼の大增產を緊要とすることとまた今日の如く甚しきはなし、惟ふに朝鮮は豐に無盡藏を藏せらるゝ茂山鐵鑛の開發成り茲に又同鐵山を利用する本製鐵所の創業を見るは皇國のため洵に慶賀に堪へざるものあり本製鐵所が昭和十四年建設に着手以來あらゆる困難惡條件を克服して茲に到りし關係各位の奮鬪努力に對しては深く感謝するところなり、今や戰局の前途はなほ遼遠にして戰力の增强上鐵鋼の需要益々激增するは必せり冀くば關係諸士倍々その生產擴充に專心努力し以て聖戰の目的貫徹に貢獻せられむことを、聊か蕪辭を連ねて祝辭となす

昭和十七年五月廿五日 朝鮮軍司令官 板垣征四郎

海軍展巡り (2)

南の戰果目のあたり

無敵海軍展三越大東亞戰會場は底知れぬ實力を發揮する吾が常勝海軍が擧げた海の戰果を勇壯なヂオラマに、實戰を髣髴させる大壁畫に讃へ示し會場に溢れる觀衆は今更の如くその天文學的擊滅戰果に眼を瞠り"海軍勇士よ有難う"の感に胸いつぱい、なかでも會場中央にしつらへた軍艦旗南方全土を覆ふかと思しく擴がる帝國日本の威を示す大南方圖は南の武威が女や子供にも一目瞭然と手にとるやうに理解され、林立した軍艦旗を通つて感激の戰況かくして海國日本を認識した觀衆は次いで小艦にも貴が將兵を苦しめた南進兵器や海軍戰利品を滿たしさらに京城出身の故相原中佐の遺影遺品に敬虔な祈りを捧げる人があとからあとから人波となつて續いてゐた【寫眞=三越會場の南太平洋圖】

男泣きに泣く
報いられた三年の辛苦

【清津支局話電】輪城平野の一隅に不滅の炬火が入る日、日鐵清津製鐵所創業史の日は遂に來た、大らかに晴れ亘つた北鮮の空を衝いて大煙突が濛々たる黑煙を吐きつゝ恐ろしい地響を打つて鎔鑛爐は見る／＼燃え始めたのだ、血と汗の日、既往三年たゞこの日のために戰つて來たわれ／＼の努力が今焰となつて燃え上つたのだ、天業翼贊の詔勅の下に邁擊敢鬪、大なる建設に生命を打ち込んでひた向に驀進して來た、三鬼所長以下工事從業員一同の心中は何うであらう、炬火を見上げる日焼した逞しい顏顏々こそ三ケ年の敢鬪報ひられた喜びと光榮の顏だ、最初清津製鐵所の建設が決定し、輪城平野に建設に着手したのは昭和十二年の暮れである、然し起工準備のため三鬼所長以下が清津に乘込んで來たのは十四年四月、そして歷史的地鎭祭を執行したのは同年五月廿九日であつた、この日から實に三ケ年夏は雨に打たれ、冬は砂塵を捲く寒風と四ツに組みながら、晝夜を分たぬ建設作業が展開されたのだ、基礎に打ち込んだ杭だけでも七千本、これが調子がよくて精々一日五本惡いと三本しか打ち込めないといふ有樣だつた、その辛苦は將に言語に絕するものがある、それに戰時下の資材難の中にあつて假令一本の釘の調達にも苦心せねばならない時世である、鐵材、セメント、勞力、船舶等の獲得に費した努力は生やさしいものではなかつた、かくて總ゆる惡條件を逞しい建設意欲で征服し第一熔鑛爐の乾燥が開始されたのは本年四月廿三日であつた、引續き同廿五日から發電所二號罐の乾燥に取りかゝり更に廿八日に發電所一號罐に火入れを行つた五月に入つてからは電氣機關車や、鑛石、コンベア等の試運轉をつぎからつぎへと行ひ去る十三日午後三時全工程に終止符を打つて送風機の試運轉が行れたのだつた、あゝ遂に完成したのだ、工事が一々出來上り試運轉を行ふ度に三鬼所長以下全員天にもとゞけと許り萬歲を絕叫したものだ、十三日の送風機の試運轉を行つた時等、唸るダイナモと共に電流一八七百度の熱風を吹き上る送風機の偉觀に一同思はず手を握り合つて感激の萬才を叫へ、男泣きに泣いたものだつた、斯くて世紀の大建設事業は完成した、工事と共に組み全員火の玉となつて突進又突進、あゝ今日廿五日の喜びは永遠に消えることを知らない鎔鑛爐の火とともに兵站基地半島に不滅の光芒を放つであらう、生まれ!戰ひつゝ建設した日本の底力を世界に誇示する生きた記念史といへよう

安藝海、照國横綱に昇進
名寄岩新大關に

【東京電話】勢戰夏場所の土俵から遂に横綱安藝海、横綱照國、大關名寄岩が颯爽と生れ出た、大日本相撲協會では廿五日午前九時から新番附編成役員會を開いたが、劈頭大關安藝海、同照國の横綱推薦が提議され、滿場一致推薦可決、ついで關脇名寄岩の新大關昇進問題が起つてこれまた滿場一致で可決こゝに第三十七および第三十八代の横綱が決定した【寫眞=上から安藝海、照國】

故近藤特派員弔問者

廿五日本社及び近藤家の弔問者(順不同、敬稱略)

▲平北地方課長山下重吉▲朝鮮有煙炭常務佐藤德重▲朝鮮無水酒精社長定立利夫▲近京城事務所長中平定輝▲朝鮮東亞俱樂部專務理事廣江澤次郎▲大興貿易社長賀田直治▲啓明協會朝鮮本部山川正▲同京畿支部近田十三平▲朝鐵專務淸水辛次▲府會議員栗本正隆▲總督府警務局防護課稻田定雄▲京城刑務所庶務課長片山茶一郎

京城一の高齡者
武者さん大往生

京城在住の內地人の中で最高齡者として幾度か總督主催の敬老會に招かれてその長壽を祝はれてゐた京城二滿町一〇三武者高歌氏が九十五歲の天壽を全うして廿四日午前五時眠るが如く大往生を遂げた葬儀は廿五日午後四時から京城新町三丁目淨國寺で近親者寄集つて行なはれたが、故人の遺志により葬儀終了後生前の交誼に對し通知狀を發送することゝなつた【寫眞=逝去した武者翁】翁は嘉永元年德川の直參旗本の家に生れ文明開化の流れに乘つて日本最初の鐵道建設技術者となり明治五年新橋、横濱間の鐵道工事技術者として、有名な新橋"の盛人"であつた、昭和十年以來記錄の標示杭を打つた鐵道日本の草分である武者京電社長の自邸で晩年を送つてゐたが逝去の日まで大小の一腰を枕邊に置いて若き頃の武士姿を偲んでゐた